

重点施策 1 1 活力あふれる公民館活動の推進

【施策方針】

生涯学習社会の期待に応えるため、時代や地域住民のニーズに応じた必要課題について学習機会を提供し、生涯学習に関する情報収集と発信に努める。

生涯学習に関する関係機関・団体と緊密に連携することにより、地域活動の核となり、コーディネーターの機能を発揮するとともに住民が気軽に立ち寄れる身近な交流の場、学習の場を提供し、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実
- ② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実
- ③ 公民館施設の修繕・備品の充実
- ④ 公民館版SDGsの活用

(2) 施策・事業の実施状況

① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実

中央公民館も出席した地区公民館主事部会を毎月1回、館長主事合同会を年3回開催し、公民館活動の発展に寄与することを目的に公民館相互の連絡調整・情報交換を行った。

公民館職員としての資質の向上を図るため、各種大会や研修に参加したり、毎年1月には公民館研究大会を開催したりと日々研鑽を積み、地元地区の活動に生かしている。

② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実

中央公民館(保内別館を含む)において、生涯学習教室(陶芸、健康体操、ヨガ、硬式テニス、さんきら自然講座、八幡浜タウンツーリズムパートⅡ、茶道、ヘルシークッキング、習字、デジカメ写真、安全吹き矢ヒューストン、季節の花をたのしむ)を開催したところ265名の受講者があった。

また、各種団体・サークル活動による中央公民館(保内別館を含む)の利用者は年間10,646人あり、地域住民の身近な交流の場、生涯学習活動の場として有効利用が図られた。

③ 公民館施設の修繕・備品の充実

各地区公民館・自治公民館の現状、緊急性、必要性等を考慮し、限られた予算の中で施設の整備充実を図っている。

④ 公民館版SDGsの活用

公民館を発展させるための16の目標の推進に努めている。令和4年度は、3月の館長・

主事合同会議において「公民館版SDGs普及啓発について」と題し、愛媛県公民館連合会専門委員会委員長の若松進一さんを講師に招き講演会を実施した。

【事務事業点検評価委員意見】

- 中央公民館も出席した地区公民館主事部会を毎月1回、館長主事合同会を年3回開催し、公民館相互の連絡調整・情報交換を行っていることは、大事なことである。各種大会や研修に参加したり、毎年1月に公民館研究大会を開催したりと日々研鑽を積み、地元地区の活動に生かしていることは、職員の資質向上に大変役立っていると思われる。
- 生涯学習教室（陶芸、健康体操、ヨガ、硬式テニス、さんきら自然講座、八幡浜タウンツアーリズムパートⅡ、茶道、ヘルシークッキング、習字、デジカメ写真、安全吹き矢ヒューストン、季節の花をたのしむ）等、多様な教室に265名もの参加があった。また、中央公民館の利用者が、10,646名もあり、身近な交流の場となっている。今後も、市民の活動が充実できるよう、支援をしていただきたい。
- 公民館施設の修繕・備品の充実については、今後も充実を図っていただきたい。
- 「公民館版SDGs普及啓発」についての研修が、できたことは、目標達成のため、有意義だと思う。

【自己評価】

- 主事部会及び館長主事合同会議での公民館相互の連絡調整・情報交換を今後も継続していき、各種研修会にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めたい。
- 生涯学習教室については、利用者のニーズ等を把握し、より一層の学習機会が提供できるように努めたい。
- 公民館施設の修繕・備品については、緊急性・必要性を考慮し充実を図るよう努めたい。
- 今後も、「公民館版SDGs普及啓発」について研修を重ね、できる分野（部門）から目標達成に近づけたい。